

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援放課後等デイサービス ソラリスキッズみなみたかみ		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援(理学療法士)を取り入れながら、より質の良いサービス提供に努めている。	利用の多い児童さんは4回理学療法士がリハビリを行い、歩行訓練・姿勢保持の練習・筋力トレーニングなどを行っている。	自閉症や知的障害児の児童さんにもリハビリが出来る様、研修に参加して勉強をしている。
2	プログラム・活動の充実	職員が意見を出し合いながら、その日利用の児童の特性に合わせた活動を行っている。 長期休みは朝から利用のため、食育を育てるためにクッキングを行ったり、農作業をしたり活動が固定化しないように努めている。	微細活動や学習の際に役に立つ教材を手作りで作ったり、購入したりして、手厚くサポートを行っている。
3	保護者との情報共有やコミュニケーションを大事にしており、HUGやLINEなどのツールの活動や、送迎時に今日の様子を伝えてコミュニケーションを取っている。	子どもたちが安心性して、笑顔で楽しく過ごせる環境づくりを目指している。	保護者の意見を職員間で共有し、今必要な支援を話し合っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の交流がない	地域の保育所や学童など同世代の児童との関りがあまり出来ない	地域の行事・イベントの参加や地域交流を目的としたイベント等を計画していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービス ソラリスキッズみなみたかみ

公表日 2026年3月10日

利用児童数 9

回収数 5 (55.6%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				ご意見なし	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3			2	ご意見なし	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1	ご意見なし	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5				ご意見なし	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				ご意見なし	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				ご意見なし	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				ご意見なし	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				ご意見なし	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				ご意見なし	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				ご意見なし	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1			4	ご意見なし	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				ご意見なし	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				ご意見なし	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	3	ご意見なし	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				ご意見なし	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				ご意見なし	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				ご意見なし	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			4	ご意見なし	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1	ご意見なし		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	5				ご意見なし	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	4			1	ご意見なし	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1	ご意見なし	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1	ご意見なし	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	2			3	ご意見なし	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	4			1	ご意見なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				ご意見なし	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4			1	ご意見なし	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5				ご意見なし	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				ご意見なし	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	活動によって部屋を分けている。	状況に合わせて部屋を分けていく。広くて落ちつかない児童もいる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	職員の希望休によってはギリギリな日もある。	障害の程度も含め、適切な配置を心掛ける。タイミーも利用する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	9	全てではないが、トイレや廊下に手すりがついている。	クッションシートがめくれあがっている箇所もあるので、転倒しないように環境整備を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日、玩具や室内消毒をしている。	部屋が広く死角もあるため、扉や柵をして児童が死角に入らないようにしている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	クールダウンする部屋や学習する部屋などを準備している。	カーテンで目隠しをしている。音が漏れるので、扉にするか検討している。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	会議で職員同士意見交換をしている。	定期的に会議を開き、全職員が把握できるようにする。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	アンケートの結果を会議で発表をし、改善点は取り組んでいる。	自己評価アンケートを今後も実施し、業務改善に繋げていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員と日頃からコミュニケーションを取り、要望等が出た場合、話をまとめている。	管理職の会議の際に、社長に案を伝えている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9	未実施	導入を検討している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	研修に行き、行けない場合はオンライン研修を行っている。	今後も研修の機会を設ける。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者と面談を行い、公表している。	保護者と関係を深め、児童にとって今何が必要か話し合い、支援プログラムを考えていきたい。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	保護者の意向を踏まえううえで計画書を作成している。	今後も保護者と情報共有を行い、児童さんに合わせた計画書を作成していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	ケース会議を行い、職員から児童の日々の様子を聞いている。	今後も職員と意見交換を行い、児童の様子を把握していく。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	児童の人数や職員の人数により、取り組める日と出来ない日がある。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	9	未実施	導入を検討している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	取り入れている。	家族支援が行き届いていないかもしれないので送迎時などに保護者とやり取りしていきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	児童の特性に合わせ、活動を決めている	今後も活動が偏らないように、職員同士で話し合ったり調べる。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0	9	児童が楽しめるように活動を決めている	適切なプログラムを計画していく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	児童の状況に応じて作成している。	今後も集団と個別で分かれるように組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	情報を共有し、変更があればラインで伝えている。	臨機応変に役割分担が出来るようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	9	0	カルテに記入をし、振り返りや気付いた点を職員間で共有している。	業務終了後に共有したり、ラインで共有したりしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	職員間で共有し、様々な対応をしていっている。その中で児童にいいのがあれば職員間で共有していく。	今後も意見交換を行い、よりよい支援が出来るようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	更新時に見直しをしたり、目標が達成すれば前倒しで支援目標を変更している。	今後も、児童の成長に合わせた支援計画を作成する。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	管理者や児発管が参加するようにしている。	今後も管理者や児発管が参加できるようにし、各関係の担当者や情報共有を行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	医療関係とは、連携が出来ていない。保護者を通して教えてもらっている。	児童にとって必要な関係機関と連携を図っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	利用児童のいる保育所とはお迎え時に担任の先生と情報共有をしている。	今後も児童にとって必要な関係機関と連携を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	分からないことがあると連絡をして情報共有を図っている。	今後も、連携を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	9	未実施	検討中
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	市民センターや公園で交流する機会があるがこちらから園に向いてと言うことはない。	近隣の施設で交流が出来そうなときは進んで参加する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳や送迎時に今日の様子を伝えている。保護者から要望があれば、面談も行っている。	今後も引き続き、共通理解を図っていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	面談や送迎時には対応は出来ている。プログラムとしては出来ていない。研修のお知らせはHUGで行っている。	今後も引き続き、共通理解を図っていく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明をしている。	今後も丁寧な説明を心掛ける。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談を行い保護者の意向を確認している。	今後も保護者と連携を取り、今後の支援に繋げていく。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	保護者の意向を聞き、支援計画に反映している。	今後も保護者と連携を取り、今後の支援に繋げていく。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談があった場合は面談を行い、今後に向けて検討を行っている。	今後も気軽に相談できるような居場所を作っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	出来ていない。	今の所、目的はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	真摯に受け止め、適切に対応している。	今後も適切な対応、助言、支援を続けていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	4	通信を廃止したので、SNSやHUGで行っている。行事予定など発信できていないので、公開していく。	今後も通信やSNSなどで発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	書庫のファイルに保管している。	承諾なしに第三者に個人情報を公開することはしていない。今後も取り扱いに注意する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	児童には視覚的支援、保護者とは送迎時やHUGなどで意思の疎通を図っている。	今後も児童や保護者に配慮していきながら行っていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	町内会には入会しているが、開かれた運営は出来ていない。	今のところ、実施出来ていないため、今後の課題としたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	職員は周知しているが、保護者は周知が出来ていないと思う。	保護者に周知してもらうようHUGでお知らせをする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	2か月に1度火災発生時や地震発生を想定した避難訓練を行っている。	訓練に参加する児童がかぶらないように実施日時を工夫していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時に用紙に記入してもらい、職員間で情報共有をしている。	薬の変更などもあるので定期的に保護者に確認していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	アセスメントで食べ物アレルギーの調査は行っている。対象児童にはその食べ物を提供しないようにしている。	今後も確認、周知を徹底するようにしていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	救命講習の研修に参加し、訓練を行っている。	保護者にも周知してもらうようにHUGで通知をしたり共有していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	周知出来ていない。	今後お手紙でお知らせしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	該当事例が起きた際にヒヤリハットを記入してもらい、職員全員に回覧している。検討会を開き、対策を話し合っている。	今後も情報共有や対策を行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	半年に1度研修があるので、職員も参加している。	今後も研修に参加し、知識を深めていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束の誓約書は保護者に伝えて、署名は頂いているが支援計画書に記載できていない。	今後支援計画に組み込んでいく。	